

委員長 委員の皆さんにお諮りいたします。報告がありましたとおり、傍聴人の入室を許可してよろしいですか。

委員 (承諾)

委員長 それでは、傍聴人の入室を許可いたします。

・・・傍聴人入室・・・

委員長 傍聴人に申し上げます。豊明市教育委員会傍聴規則の各条項を十分遵守して傍聴してください。

会議録承認 11月臨時会(11月29日分)及び12月定例会(12月18日分)の会議録を承認する旨確認。

委員長報告 私からは2点報告させていただきます。まず1点目は、1月10日に豊明市スポーツ賞の審査会がございました。毎年一つの議論になることがありまして、体育館に申請が出て、それを受けて審査するという形を取っているのですが、その団体の詳細や大会規模が不明確で、どこまで賞を出すのかということが毎回議論になります。今日の議題にもあり、後ほど体育館からの説明があるとは思いますが、それについても委員さんのご意見を伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。2点目は、1月13日に成人式が例年どおりに行われました。天候にも恵まれ、非常にたくさんの成人の方々文化会館に来ていただきました。今年は男女合わせて700名の方が成人になられたということで、非常に良い成人式になったと思います。委員長報告は以上です。次に教育長報告をお願いします。

教育長報告 私からは3点報告致します。1点目は、第34回愛知県特別支援教育振興大会についてです。1月18日、ウィル愛知で開催されたこの大会は、第1部が功労者の顕彰と大会宣言、第2部が名古屋盲学校職員の広瀬誠先生による講演の2部構成でした。広瀬誠先生の講演の演題は「パラリンピックを通して感じたこと」で、ユーモアを交えながらの講演でした。同先生は、アテネ、北京、ロンドンのパラリンピック3大会で視覚障害柔道の日本代表選手でした。中学生のときはバレーボール部に所属していたものの、団体、球技は苦手だと悟り、高校入学後に柔道を始めたそうです。しかし高校生のときに、レーベル病により2.0だった視力が数か月のうちに0.01に低下し、視力を失ってしまいました。その時は失望感にさいなまれ、またご両親も生まなかつた方が彼にとって幸せだと思っただけで嘆いたそうです。しかし同先生は視力がなくても柔道はできると気持ちを切り替え、柔道を続けたそうです。その柔道を通して自制心とビジョンを持つことを学んだそうです。そして、ヘレン・ケラーが言った、「障害は不便だが不幸ではない」という言葉を今まさに実感し、障害者は時間をかければできるようになるという気持ちの下、教員として生徒に接しているという言葉が印象的でした。2点目は、子どもフェスティバルについてです。1月20日、第8回子どもフェスティバルが文化会館大ホールで開催され見学しました。フェスティバルの企画運営、そして演じるのも子どもたちが中心で、今年の司会進行役は、小学生も加わり、小、中、高校生による司会進行、スポットライトも中学生が操作し、まさに手作りのフェスティバルで、見ていて温かさを感じました。私から、児童生徒に活動を通じて話し合ったり協力する中で、他の人との関係を築いていくことは、ますます重要になるので、活動を通じて経験したことを今後も大切にして下さいと伝えました。3点目は、インフルエンザについてです。愛知県では1月16日に、インフルエンザ注意報から警報に切り替わりました。市内の小中学校でもインフルエンザに罹患した児童・生徒が現れ始めています。本日から3日間、大宮小学校6年1組が学級閉鎖になりました。インフルエンザは通常3月ごろまで流行すると言われていています。1月8日の校長会で、インフルエンザの流行を前に、手洗い、うがいといった学校でできる予防策を講ずるよう依頼しています。教育長報告は以上です。

委員長 ただいまの委員長報告、教育長報告についてご意見ご質問はございますか。

委員 桶狭間太鼓のアトラクションが行われ、演技そのものももちろん感動的ではありましたが、式典の前に場が締まる効果があり、アイデアとして素晴らしいと感心しました。

委員 今年は実行委員に、OBの方も参加するという新しい取り組みをしました。とても良いアイデアだったと思います。

委員長 実行委員が自分たちで創り上げるという形になっていて、年々落ち着いた成人式になっていると実感しました。

委員長 他にはよろしかったですか。(なし)それでは、続いて議事に入ります。

議事の経過

委員長 議案(1)平成25年度全国学力・学習状況調査の実施について、説明をお願いします。

指導室長(資料第1号に沿って説明する。)

委員長 ただいまの議案(1)について、ご意見等はございますか。

委員 豊明市にとって、この調査をどのような扱いとし、どのような成果を期待しますか。

指導室長 まず全数調査をやっていたときには、各学校それぞれの分析結果と豊明市教育委員会として取りまとめた全小学校の成績を保護者等に配布した経緯があります。それぞれの学校では、その結果を踏まえて、改善のための検証教育などの取り組みを進めてきました。この調査で、学力の定着度を測り、現況の検証・改善に役立てていきたいと考えます。

委員 教育の達成度や習熟度を測る調査ということですが、実態を把握するということは基礎の基礎だと思います。事実を適切に把握することは、何が不足するのか、何を改めるべきなのかという対策を立てるための大前提となり、国において統一的な指標となるものですので、調査に参加することに賛成します。

委員 一番懸念されることは、結果だけを求めてしまうことだと思います。目標を失ってしまうとそうになってしまいがちですので、あくまでも現状把握のための資料であるとみんなが認識して指導に活かしていただけると良いと思います。

教育長 きめ細かい調査というのは、10月、11月ごろから報道等されていたと思いますが、そのときに決まっていた内容でしょうか。

指導室長 改めて平成24年12月7日付けで通知が出ています。

委員 保護者の方への調査について、未回答でも良いのですか。

指導室長 まだ詳細についての説明はありませんが、おそらく未回答であればそのように集計されるということになると思います。また、学校が個々の回答を確認するようなことはありません。

委員 今回新たに追加された家庭に関する調査についてですが、家庭環境が教育に与える影響を個別に調査するのではなくて、全体の傾向把握のための調査として、それなりに価値のある調査ではないかと思います。

委員長 様々な心配事はあるかもしれませんが、国が統一的に実施する調査に本市としても協力すべきではないかと思えます。他に意見等はございますか。(なし)それでは、調査に参加をするということでもよろしかったですか。(意義なし)では議案(1)については参加する方向で承認とします。続いて、報告(1)平成25年豊明市成人式開催状況について、説明をよろしく願います。

生涯学習課長 (資料第2号に沿って説明する。)

委員長 ありがとうございます。報告(1)について、ご意見等はございますか。(なし)では報告(1)については承認とします。それでは、報告(2)豊明市スポーツ賞表彰式について、説明をよろしく願います。

体育館長 (資料第2号に沿って説明する。)

委員長 体育館長から説明がありましたが、補足させていただきますと、審査委員会において、明確な審査基準がないため、豊明市スポーツ賞として何を表彰していいのかが審査委員の中でも迷いが生じるというのが事実です。例えば、新しい競技が県の体育協会やレクリエーション協会に登録されると審査対象となるわけですが、その競技人口や知名度などトータルで判断する必要があります。それらを厳しく審査するのか、励ましの意味を込めてある程度基準をクリアしていれば表彰するのか、委員の中でも様々な意見があります。そういったことを今日一日で決めるのは難しいとは思いますが、委員の皆さんのご意見も伺えたらと思います。

委員 今回の資料には、規程の抜粋が載っていますが、内規についての資料がないので、議論はできません。

委員長 内規の基準そのものに疑問を感じる審査委員さんがお見えであるということで、スポーツ賞は教育委員会に決定権があるため、教育委員会で決めてくださいということでした。内規についての資料は提供できますか。

体育館長 本日配付させていただき、後日ご意見をお聞きしたいと思います。

委員 特に問題になっていることは何ですか。

委員長 例えば、全国大会に出場した者といっても、予選を勝ち抜いて出場した者と推薦により出場した者とがあり、もちろんそれまでの功績があって推薦されているとは思いますが、そのあたりの差を感じるということです。

委員 スポーツ賞の意義をどのように捉えるかが大事だと思います。市の表彰ですから、市民としてよくやってくれたという意味だと思います。ただ規程となると難しいと思います。

委員長 ただいま内規が配付されましたので、後日改めて委員の皆さんのご意見を聞く場を設けて欲しいと思います。

教育長 教育委員会でご意見を伺うのと併せて審査委員会でもご意見を伺いたいと思います。

委員長 他にご意見等はございますか。(なし)では報告(2)については承認とします。続きまして、その他(1)野外活動検討委員会の中間報告について、説明をお願いします。

指導室長 小学校の野外活動における野外教育センターの利用については、医療機関の問題、衛生の問題、カウンセラーの確保や施設・設備の今後の整備のことも踏まえたと、別の場所で

安全を確保したいと考えます。市長部局にはこのような方向性であることを説明し、現在調整中です。

委員 中学生はどのような方向ですか。

指導室長 平成25年度については、今年度同様、一泊は野外教育センター、一泊は民宿で考えています。ただし、民宿の容量の問題がございますので、小学生同様、段階的に別の場所を検討していきたいと考えます。

委員長 小学生の野外教育は、二泊三日から一泊二日に変更となっておりますが、今後も一泊二日になるのですか。

指導室長 今後は一泊二日で考えています。この件につきましては、今回の野外活動検討委員会だけではなくて、継続して検討してきました。小学生については、5年生という発達段階のことを考えますと、準備も含めて負荷がかかっているという議論もありますので、来年度以降は一泊二日で実施していきたいと考えます。

委員 近隣市町はどのような状況なのでしょうか。

指導室長 近隣市町も、小学生は一泊二日、中学生は二泊三日で実施していると認識しています。

委員長 慎重に審議していただき、充実した内容で最終的な報告をしていただきたいと思います。他にご意見等がございますか。(なし)続きまして、その他(2)次回及び3月教育委員会の日程について、説明をお願いします。

学校教育課長 (2月15日(金)午前9時30分から定例教育委員会、3月15日(金)午前9時30分から3月定例教育委員会を開催する旨提出。協議を行っていただく。)

委員長 では、2月定例教育委員会の日程については、2月15日(金)午前9時30分から、3月定例教育委員会の日程については、2月15日(金)午前9時30分からとします。その他に何かございますか。

学校教育課長 (平成24年度愛知地区教育委員会連絡協議会の研修について、日程(2月14日)及び行程を説明する。)

委員長 その他ございますか。(なし)では、私から1点、中央小学校のプレハブ校舎の跡地について、非常に重要な問題ですので、1月7日に緊急で皆さんにお集まりいただき議論していただきました。その後の現時点での状況をご説明いただけますか。

教育長 現時点の状況について、皆さんにご議論いただきました現プレハブ校舎は平成25年3月20日でリース期間満了となり、跡地には恒久的な校舎を建設するため、設計費を平成25年度の予算に計上する予定です。

委員 プレハブ校舎の期間満了は分かっていたわけですから、今年度設計して25年度には建設に入ることもできたと思います。教育環境を整えるのが義務ですから、計画的に取り組んでいただきたいと思います。

委員長 今後は早めに検討していただきたいと思います。

閉会宣言 午後3時05分、定例教育委員会の閉会を宣言。